

学研賞

ジャンケンはどうして3しゅるいなのか？

大阪府 大阪教育大学附属池田小学校3年 田中 莉穂

講評

「ジャンケン」の公平性を調べることから始まって、もしも種類が4, 5, 6, …と増えたらどうなるのかと発展的に考えているところがたいへんよい算数的な活動となっています。その結果、種類が奇数の場合には公平なジャンケンができることに気づきますが、実際に試してみるとたいへんな部分があることにも言及しています。一つのことについて、「もしも～だったら」と考えて、それを探究していく姿勢は素晴らしいものです。

中央審査委員会